



2022~2023

沼田ロータリークラブ会報

イマジン ロータリー
IMAGINE ROTARY

2022~2023年度 国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 桑原 滋 幹事 星野貴昭 会報編集 田辺祐己
例会場 ホテル ベラヴィータ 事務所 沼田市下之町888 テラス沼田7階 TEL 0278-24-1177

第3129回 例会報告

2022年9月6日

記録 田辺祐己

例会予告

9/13 桑原滋会長

9/20 未定

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2022年9月13日発行 No.8

クラブフォーラム II

職業奉仕委員会

委員長 戸部 聖之 副委員長 南雲 達也
委員 諸田 一豊・小林 正典・金井 俊介
須田 羊子・佐藤 勉・星野 洋人
金井 正樹・小林 弘一・茂木 博

【主旨】

ロータリーの基本精神である職業奉仕についての理解を深め、会員同士が職業を通じて相互の信頼関係を高めるとともに、会員同士の親睦を図ります。また、職業奉仕の理想を踏まえ、次代を担う地域社会の青少年へ自己啓発の場となるよう活動を行います。

【内容】

1. 中高生の職場体験の受入
2. 模擬職業面接への協力
3. キャリア教育出前講座（中学・高校）の開催
4. 職場訪問例会の実施

国際奉仕委員会

委員長 深津 卓也 副委員長 齋藤 正典
委員 津久井 功・久保 郁弥・諸田 一豊
金井 俊介・須田 千秋・小倉 仁
綿貫 利彦

【主旨】

国際奉仕の基本理念を礎として、世界的なコロナ危機や侵略、弾圧、紛争による避難民の増大など、ロータリアンとして国際奉仕が今まさに求められている。我々は何をすべきか、何が出来るかを考え、国際理解、親善、協力、平和への推進を図る。また、伝統ある沼田ロータリークラブの国際奉仕事業の過去の経過を辿り纏める。

【内容】

1. フィリピン・サーキットマカティ-RCとの交流及び支援継続

① Bantay Karagatan at Kalikasan バンチエイ・カリカサン・プログラム、沿岸・海洋生態系保護プログラムへの支援。バタンガス州における持続可能な漁業と沿岸・海洋生態系の保護を目的として基本的な情報、教育、コミュニケーション（IEC）を提供する

② 重点分野：環境保護、コミュニティ開発、教育 対象者：地元の漁師100名

③ 活動内容：海岸清掃活動、漁業者向け研修、ワークショップ、義援金配布他

2. ミャンマー・ロヒンギャ難民への支援

① 国際支援がウクライナに集中する中、2017年以来、ミャンマー軍による、イスラム教徒少数派民族ロヒンギャに対する迫害が続き、今年ジェノサイド（民族大量虐殺）が認められた。70万人が隣国バングラデシュへ避難し難民キャンプでは約100万人のロヒンギャ難民が生活している。

② 在日ビルマロヒンギャ協会（館林市）、館林市、館林RC他と協力し、特にロヒンギャの子どもたちの教育への支援を実施する（学用品他）

3. 沼田ロータリークラブ国際奉仕活動のまとめ

① 過去の国際奉活動を振り返りその事業の変遷を纏める。

② 簡単な小冊子の作成

4. ウクライナ支援関連

ロシアの軍事侵攻によるウクライナ避難民に対して沼田市など行政機関の受入支援な

どが既に用意されているが、必要に応じてその補助的支援の予備費を計上する。

ローターアクト委員会

委員長 木下 康彦 **副委員長** 須田 千秋
委員 綿貫 利彦・赤間 昌彦・平井 秀明
宮田 徳彦・津久井 功・割田 一敏

【主旨】

ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力開発のために役立つ知識やスキルを身につけ、各地域社会の物質的、社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだにより良い信頼関係を築く機会を提供することにある。

当委員会では、ローターアクト活動の全面的な支援及び協力を行うとともに、沼田ロータリーカップ勉強版の開催等を通じて地域を担う未来のリーダーの育成に貢献したい。

【内容】

- 1.ローターアクト会員の増強 目標：2人以上
- 2.ロータリークラブとローターアクトクラブ両会員の友好を深める
- 3.ローターアクトクラブ会務運営の適正化の支援
- 4.ローターアクト友の会（OB会）の充実
- 5.ライラ研修の推進
- 6.ローターアクト年次大会の支援
- 7.沼田ロータリーカップ勉強版の開催
- 8.沼田版キャリア教育推進団体の設立
- 9.地区補助金事業の検討

インターアクト委員会

委員長 安達 政喜 **副委員長** 佐藤 勉
委員 久保 秀弘・小菅 茂雄・高橋 圭介
阿佐見卓己・林 美津紀・林 正史

【主旨】

当クラブが提唱している利根商業高校インターアクトクラブと連携を取りつつ、インターアクター達の地区行事への参加や地域奉仕活動、海外のインターアクター達との交流活動等の支援を行い、インターアクター達青少年のエンパワメントを後押ししていきます。また、インターアクター達若い世代との交流を通じて、当クラブの認知度を高め、当

クラブにより一層の活力がもたらされていくよう活動していきます。さらに、インターアクト活動の紹介を例会で行い、当クラブ内においてのインターアクト活動の認識定着も行っていきます。

【内容】

- 1.インターアクト年次大会
- 2.RYLA研修会ほか地区行事参加への支援
- 3.利根商モール参加
- 4.インターアクト国際交流支援
- 5.インターアクト活動の紹介（例会での卓話など）

ロータリー財団委員会

委員長 塩浦 敬之 **副委員長** 今井 幸吉
委員 久保 英弘・松野 正一・矢島 照久
宮澤 孝幸・橋本 安夫・小熊 政則
浅沼 美香

【主旨】

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができ、50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。また500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます。

以上の事を踏まえ、本年度も当委員会へのご理解とご協力を宜しくお願いします。

【内容】

- 1.財団寄付目標
 - ①年次寄付1人150ドル以上
 - ②ポリオ・プラス 1人30ドル以上
- 2.事業目標
 - ①マルチプル・ポール・ハリス・フェローの推進
 - ②財団の友の推進
 - ③ベネファクターの理解と推進
 - ④財団ボックス寄付推進及び氏名の公表
 - ⑤財団ボックス寄付優秀者の表彰
 - ⑥ロータリー財団月間の11月にポリオプラ

ス寄付をお願いする

- ⑦新会員入会の際に寄付をお願いする
- ⑧財団寄付の用途についての周知と理解を深めて頂く

米 山 奨 学 委 員 会

委員長 春日 政志 **副委員長** 金井 正樹
委員 関 真一・桑原伸一郎・柳澤 一貴
鈴木 秀俊・櫛淵 光彦・山宮 敏夫
保坂 充勇

【主旨】

ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー全34地区が共同で運営する民間の奨学団体です。多くのロータリアンからの寄付を財源とし、日本で学ぶ優秀な外国人留学生に奨学金を支給し、支援をする事業を行っています。

その使命は、将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって、ロータリーの目指す“平和と国際理解”の理念の良き理解者となる人材を育成することを目指しています。当委員会は、これを推進するため、下記の事業を行ってまいります。

【内容】

寄付目標を一人16,000円（普通寄付金3,000円を含む）とする。
米山奨学事業をよりよく理解していただくため、例会での卓話
米山奨学生あるいは、米山親善大使による例会での卓話

研 修 特 別 委 員 会

委員長 水石 清治 **副委員長** 宮内 明彦
委員 武田 寛・桑原伸一郎・松野 正一
横山 公一・櫛淵 光彦・矢島 照久

【主旨】

「入りて学び、出て奉仕せよ」ロータリーを知り、行動を起こす事で何か、楽しくなります。ロータリーに観客席は有りません。全員プレイヤーです。

【内容】

- 1.新会員と入会3年以内の会員へ向けて研修を実施する。（入会3年未満会員数7名）
- 2.パストガバナーを招き、研修会の開催をする。

3.RLI方式の研修会を実施。

長 期 戦 略 特 別 委 員 会

委員長 宮内 明彦 **副委員長** 水石 清治
委員 横山 公一・今井 幸吉・関 真一
須田 羊子・塩浦 敬之・天野 純一
桑原 敏彦・斎藤 正典・赤間 昌彦
田辺 祐己

【主旨】

本委員会は、クラブの将来像や取り組むべき課題整理などを会員の皆さんからアンケート調査や様々な機会で見聞集約する。そして会員ニーズを把握し、クラブ活性化に寄与することを目的として委員会活動を行い、「全会員の居場所づくりから、学んで良質な奉仕へ、そして夢を語り合える仲間づくり」につなげる。

【内容】

- 1.現状の把握と課題の洗い出し
- ①前回実施から6年間が経過したことから、会員満足度アンケートを実施し変化を確認する。
- ②地域社会の奉仕機会を検討する。
- ③入会5年以内の会員の意見集約会合を開催する。
- 2.規程審議会の年であり、クラブ運営に関わる細則等変更内容を整理してみる。

例 会 報 告

■司 会 吉野 登SAA出席委員長
■ソング 奉仕の理想 天野純一君
■会長の時間 桑原 滋会長

利根校長会、沼田校長会で沼田ロータリーカップ勉強版について木下アクト委員長と説明に行ってきました。この事業は宮内会長の時に始め本年度で5年目になります。目指すところは利根沼田のリーダーを育てること。中学3年生に自信を持ってもらいたと思っています。将来この地域で起業したり、家業を継いだり、この地域で就職しその力を発揮してもらいたい、そのことが地域の活性化に繋がると思います。本年は10月30日に選抜テスト、3月28日の例会で表彰式、同日研修会の予定。今までの研修会はJSBNとい

う教育系NPOをお願いしていましたが、本年度より勉強版卒業生の大学メンバーを中心の団体を作り研修を行って行く予定です。

「四つのテスト」についてお話しさせていただきます。1931年にシカゴRCの会員であるハーバート・テイラーが倒産の危機に瀕した会社を引き受けこの会社を立ち直らせるために書き留めた経営上の指針です。

横山ガバナー年度の報告書「ロータリーシェアーズ」での田中毅PGの解釈では1. 真実かどうか (Is it the truth?)は、商取引において商品の品質・納期・契約に嘘偽りがないか、ここでは「事実かどうか・嘘偽りがないかどうか」と説明されています。2. みんなに公平か (Is it fair to all concerned?)は商取引の基準なので「すべての取引先に対して公正かどうか」との事です。3. 好意と友情を深めるか (Will it build goodwill and better friendship?)は、その商取引が店の信用を高めると同時に、より良い人間関係を築き上げられるか、すなわち「信用を高め、取引先を増やすかどうか」との説明です。4. みんなのためになるかどうか (Will it be beneficial to all concerned?)は、商取引において適正な利潤を追求することは当然であるが、売り手だけ儲かって、買い手が儲からないのでは公正な取引とは言えない、つまり「すべての取引先に利益をもたらすかどうか」という説明です。

私たちは職業人の団体です。「四つのテスト」を指針として企業の繁栄、地域の発展に向けて奉仕しましょう。

幹事報告

星野貴昭幹事

- ◎理事会の開催 本日例会終了後
- ◎エンブレムの締め切り 本日まで
- ◎現状報告書の訂正

会員名簿の小林賢一・田村正美削除、72名

委員会報告

◎SAA出席委員会 阿左見卓巳委員

会員数	会場出席	メーク	出席率
73名	35名	4名	60.60%

◎ニコニコ委員会 高橋圭介委員

・水石清治君 欠席が続き申しわけありません

んでした。

- ・飯島千明君 9月4日(日)3年ぶりに開催された佐渡国際トライアスロン大会に出してきました。スイム4km、バイク190km、ラン42km。しゃく熱の中、13時間半で無事完走できました。全ての方に感謝です。しばらくは体を休めます。

ニコニコ週間 新入会員、小島隆一さんをお迎えして

桑原 滋君	星野貴昭君	浅沼美香さん
天野純一君	小熊政則君	小倉 仁君
金井正樹君	小暮正人君	小坂哲平君
塩浦敬之君	鈴木英俊君	須田千秋さん
須田羊子さん	清野啓介君	関 真一君
高橋圭介君	津久井功君	戸部聖之君
南雲達也君	西田俊太郎君	深津卓也君
福田真盛君	宮内明彦君	宮澤孝幸君
柳澤一貴君	山田龍之介君	吉野 登君
割田一敏君		

◎財団BOX IN 松野正一委員

桑原 滋君	浅沼美香さん	天野純一君
飯島千明君	今井幸吉君	小熊政則君
小倉 仁君	小野里雅広君	春日政志君
金井正樹君	久保英弘君	小暮正人君
小坂哲平君	小菅茂雄君	塩浦敬之君
須田千秋さん	須田羊子さん	清野啓介君
関 真一君	高橋圭介君	津久井功君
戸部聖之君	南雲達也君	西田俊太郎君
深津卓也君	福田真盛君	松野正一君
水石清治君	宮内明彦君	宮澤孝幸君
村山高広君	柳澤一貴君	吉野 登君
割田一敏君		

入会おめでとう



小島隆一君